

The 43rd TOKYO MOTOR SHOW 2013

PRESS INFORMATION 2013.11.20


HONDA
The Power of Dreams

自分の限界を、自分で決めていないか。過去の常識にしばられていないか。本来、人間は自由な存在だ。自由であるはずの人間が、自ら自由を手放してどうする。しょせん限界も常識も過去のもの。自由な創造を邪魔する過去など、忘れてしまおう。新しい知恵で困難に立ち向かえ。時代の先をゆけ。今までの枠の中に、未来はないのだから。そう、僕たちは、なんにでもなれる。僕たちは、どこへでもゆける。

枠にはまるな。

HONDA

The Power of Dreams



ひらめ
枠にはまらない閃きから、
Hondaの独創が始まる。

Hondaが挑戦し続ける、これまでにないモビリティの創造。

その出発点となるのは、前例や過去の常識にとらわれない、斬新な閃きです。

だからこそHondaは、何かを閃いたとき、自問します。

「それは、枠にはまっていないか?」と。

そうして閃きを磨き、革新的なコンセプトにまで昇華させることで、

Hondaは人々に新たな喜びをもたらす、モビリティを生み出してきました。

今回のモーターショーでは、私たちの、枠にはまらない閃きから始まった
独創のモビリティをご紹介します。ぜひこの機会に、Hondaが思い描く
オリジナリティーあふれる未来をご体感ください。

The Power of Dreams

Hondaの閃きが生んだ独創のモビリティー

👉 モビリティーの名称をクリックすると各詳細ページへ移動します。

Concept Models

01 : 多くの人にスポーツカーの喜びを新提案。

Honda S660 CONCEPT 

02 : 異次元のドライビングプレジャーを目指した、次世代スーパースポーツ。

NSX CONCEPT 

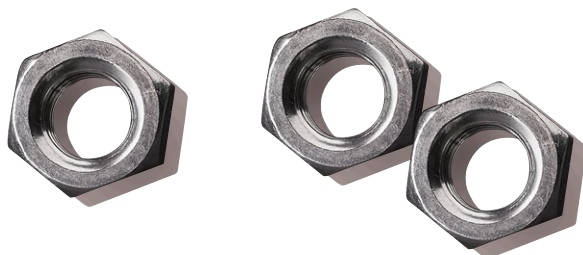
Prototype Models

03 : 従来の自動車の枠にはまらない超小型EV。

MC-β 

04 : あなたと、あなたの空間に調和する新しいモビリティー。

UNI-CUB β 



Automobiles

- 05 : VEZEL (市販予定車)  (ワールドプレミア)
- 06 : N-WGN  (ワールドプレミア)
- 07 : FIT
- 08 : ODYSSEY
- 09 : Accord PLUG-IN HYBRID

Motorcycles

- 10 : GOLDWING F6C  (ワールドプレミア)
- 11 : CB1100 EX<ABS>  (ワールドプレミア)
- 12 : CB1100  (ジャパンプレミア)
- 13 : Dunk  (ワールドプレミア)
- 14 : CTX1300  (ジャパンプレミア)
- 15 : VFR800F  (ジャパンプレミア)
- 16 : CB1300 SUPER FOUR  (ジャパンプレミア)
- 17 : CB1300 SUPER BOL D'OR  (ジャパンプレミア)
- 18 : CB400 SUPER FOUR  (ジャパンプレミア)
- 19 : CB400 SUPER BOL D'OR<ABS>  (ジャパンプレミア)
- 20 : CBR1000RR SP  (ジャパンプレミア)
- 21 : CBR250R
- 22 : CBR650F  (ジャパンプレミア)
- 23 : CB650F  (ジャパンプレミア)
- 24 : VFR1200X Dual Clutch Transmission  (ジャパンプレミア)
- 25 : NC750X Dual Clutch Transmission  (ジャパンプレミア)
- 26 : NC750S<ABS>  (ジャパンプレミア)
- 27 : INTEGRA S  (ジャパンプレミア)
- 28 : CB1100 Customized Concept  (ワールドプレミア)
- 29 : Dunk Customized Concept  (ワールドプレミア)
- 30 : CROSS CUB Customized Concept  (ジャパンプレミア)
- 31 : MONKEY Limited  (ジャパンプレミア)



Honda S660 CONCEPT



01

多くの人に
スポーツカーの喜びを
新提案。

クルマと人が一体になるようなスポーティーな走りを、多くの人を楽しめるスモールカーで実現したい。その想いから、次世代スポーツコンセプト「Honda S660 CONCEPT」の開発はスタートしました。小さくても、本物のスポーツカーであること。持つことが誇らしいこと。そして何よりもHondaらしい革新性に満ちていること。高い目標を掲げ、Hondaのあふれる情熱と技術を結集。全身でスポーツカーであることを主張するダイナミックな先進スタイリングや、ドライバー中心の思想をさらに進化させたスーパーコックピットインテリアなど、斬新な試みを随所に行った軽オープンスポーツ「Honda S660 CONCEPT」。Hondaの夢を凝縮した一台が、スポーツカーの新たな喜びを提案します。

閃き：

これが夢の原点だ。

デザイン室

稲森 裕起

高密度で躍動感のある塊を追求した、ダイナミックな先進スポーツスタイリング

エクステリアは、Hondaのエキサイティングなデザインコンセプトをベースに、高密度でありながら躍動感のある塊を創出しました。引き締まったボディと張り出したフェンダー。ボディ後部へ勢いよく切れ上がるサイドのキャラクターライン。ヘッドレスト後部からリアへと伸びるリアフード。そのボディ全体で、先進のオープンスポーツがもたらすダイナミックな走りのイメージを表現しています。



次世代オープンスポーツとしての個性を強調する、ライト類のデザイン

薄型でシャープな形状のヘッドライトは、外周を縁取るように配されたポジションランプとともに先進感を主張。リアコンビネーションランプとリアグリルが一体となった造形が斬新なリアデザインとあいまって、次世代オープンスポーツとしての個性を強調します。



ドライバーのための空間を徹底的に追求した、スーパーコックピットインテリア

Hondaのスポーツカーはドライバーのためのクルマでありたい。そんな強い想いを、先進のドライバーズ空間として追求。よりドライビングに集中できるように、ドライバーとのインターフェースを進化させ、高い機能性と未来感をあわせ持つスポーティーなインテリアを表現しています。



Honda車の原点が、当時の情熱とともに 50年の時を超えて甦る。

四輪車の販売開始から50周年、先人たちの情熱や当時の技を未来へ引き継いでいくために。Hondaは、初めて一般に公表した幻の四輪自動車「SPORTS・360」を、当時の図面や資料をもとに復元しました。2シーターのオープンボディに日本初のDOHCエンジンなど、当時としては画期的な技術を結集。技術の塊であるスポーツカーから、Hondaの四輪自動車への挑戦は始まったのです。



Honda history

HONDA
SPORTS・360

02

異次元のドライビング プレジャーを目指した、 次世代スーパースポーツ。

「NSX CONCEPT」は「人間中心」の開発思想を徹底的に貫き、パワートレイン、シャシー、コックピットに至るまで設計されています。優れた環境性能や燃費性能だけでなく、ドライバーとマシンが一体化したような、異次元の操る喜びを実現するために開発した走りのハイブリッドシステム

「SPORT HYBRID SH-AWD[®] (Super Handling - All Wheel Drive)」をキーテクノロジーとし、ミッドシップに配置した直噴 V型6気筒エンジンに、高効率モーターを内蔵した

デュアル・クラッチ・トランスミッションを組み合わせ、前輪の左右を独立したモーターで駆動する電動式四輪駆動システムを搭載した、スーパースポーツの新しい時代を切り開くモデルです。

Honda独創のトルク自在制御システムにより、左右のトルクを独立して制御することができ、クルマの旋回に必要な力を自ら生み出し、革新的なオン・ザ・レール感覚のコーナリングを可能としています。

エクステリアデザインはクリーン・モダン・シンプルなコンセプトを際立たせ、高いパフォーマンスを感じさせるロー&ワイドで力強くなめらかなスタイリングへと進化しました。

インテリアのコンセプトは「ヒューマン・サポート・コックピット」とし、

広い視界とエキゾチックなドライビングポジションや直感的な

インターフェースのコックピットを採用し、

ドライバーが運転に集中できる空間を提供します。



NSX
CONCEPT



閃き： *CREATING NEW SPORTS EXPERIENCES!*

開発責任者

Ted Klaus

訳：未知の世界に誘うスポーツカーの創造!

03

従来の 自動車の枠にはまらない 超小型EV。

Hondaが思い描く未来の社会。それは、人々が快適で便利に暮らしながら、地球環境と調和するスマートな社会です。人々はそこで、シーンや目的に応じてモビリティを賢く使い分け、移動の喜びを大きく膨らませていきます。今回、Hondaが提案する超小型EV「MC-β」は、そんなライフスタイルに寄り添う新たなモビリティです。人の空間を第一に考えるHondaの思想を徹底し、マイクロサイズのボディーの中に驚きの空間を創出。さらに、毎日のさまざまな場面で豊かな時間を演出できるよう、デザインをフレンドリーかつシンプルに。一人ひとりのアイデアに応じて自由に使えるから、暮らしに新たな楽しみが広がります。小さなボディーにHondaの想いと技術を凝縮させた「MC-β」。地方自治体と共同で社会実験を開始しています。

熊本県、さいたま市、宮古島市と社会実験を開始

熊本県、さいたま市、宮古島市が開始した社会実験に、Hondaは超小型EV「MC-β」を順次導入。各地域での街づくりや、移動に関する課題に対し、社会システムとして求められる超小型モビリティの使い方やニーズの探索を行っていきます。

MC-β



プロトタイプモデル ■全長：2,495mm ■全幅：1,280mm ■全高：1,545mm ■ホイールベース：1,830mm

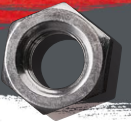


最高速度	70km/h以上
モーター出力	定格6kW／最大11kW
バッテリー	リチウムイオン
航続走行距離	80km以上
充電時間	3時間以下（200V）
	7時間以下（100V）

閃き： **小さくも磨けばきっと大きな魅力になる！**

スマートモビリティ開発室

一瀬 智史



04

あなたと、 あなたの空間に調和する 新しいモビリティ。

いままでにない価値を提供する次世代のモビリティ。

その創造は、前例や常識にとらわれない自由な発想から始まります。

「UNI-CUB β」は、ASIMOに代表されるヒューマノイドロボット研究から開発された
バランス制御技術や、全方位駆動車輪機構 (Honda Omni Traction Drive System) により、
身体を傾けて体重移動するだけで、前後左右や斜めへ、人の歩行のような動きを
可能にした新しいパーソナルモビリティです。オフィスや商業施設など、
モビリティがこれまで入れなかった場所でも、移動の喜びや楽しさを広げたい。そんな想いから、
「人との調和」をテーマに、人の行き交う場所に適応するコンパクトなサイズで



■日本科学未来館での実証実験風景

人と一体となる美しさを追求し、
周囲の空間に溶け込むようなデザインとしました。
2012年から実施している日本科学未来館での
実証実験をふまえて、小型軽量化や素材の
改良を重ね、さらに使いやすく、
さらにフレンドリーなモビリティに進化を続けています。



Hondaパーソナルモビリティのこれまでと、UNI-CUBの進化



UNI-CUB β



プロトタイプモデル ■全長：510mm ■全幅：315mm ■全高：620mm ■重量：25kg

閃き： 歩くのと同じように リモをコントロールするんだ！

VEZEL



EARTH DREAMS TECHNOLOGY

【市販予定車】

■全長：4,295mm ■全幅：1,770mm ■全高：1,605mm

多面的価値を追求し、それらを掛け合わせることで新たな価値がうまれる。力強いSUVとあてやかなクーペ、使いやすいミニバンを高次元で融合したクルマ、それが「VEZEL〈ヴェゼル〉」です。ローアボディーでSUVの安定感を強調するとともにクーペのような流麗さをアッパーボディーで表現。その2つをサイドのキャラクターラインで統合し、躍動感のあるエモーショナルなデザインを実現しています。インテリアは、広がりのあるインストゥルメントパネルと、先進的かつ上質なハイデッキセンターコンソールで前席のパーソナル空間を創出。後席は広さと高い積載性能、実用的なカーゴルームなど、ミニバンのような快適性と使いやすさを両立しました。日本では新世代パワートレイン技術を搭載したガソリン車とハイブリッド車を、グローバルでも各地域に合わせた展開を予定しています。

05 多面的価値を クロスオーバーさせた 新世代ビークル。



【ネーミングに込めた想い】 英語で「カットした宝石の小さな面」を表す「Bezel」と、クルマを意味する「Vehicle」を掛け合わせた造語。角度によって表情を変える宝石のように「多面的な魅力と価値を持つクルマ」という想いを込めました。

閃き： **今の常識や慣例はぶち壊せ。**

開発責任者

板井 義春

06

「N」に求められる
すべてを、高い次元で
備えたクルマへ。

NEW NEXT NIPPON NORIMONO

[Nシリーズ]



N-BOX

軽自動車の概念を覆す広さ



N-BOX+

アルミスロープで幅広い用途に対応



N-ONE

いままでにないプレミアムな軽



Photo : G・Aパッケージ

N

WGN



EARTH DREAMS

TECHNOLOGY

■全長：3,395mm ■全幅：1,475mm ■全高：1,655mm(FF)/1,675mm(4WD) ■ホイールベース：2,520mm

これまでの「軽」という概念を超えて、新しいカテゴリーへと進化したクルマ、Nシリーズ。第四弾として送り出す「N-WGN(エヌワゴン)」は、そんなNシリーズの中で、新しいベーシックとなる存在です。軽自動車には見えない堂々としたデザイン。大人4人がくつろげる快適さと、大人4人の荷物が積めるラゲッジスペースの両立。気持ちいい走りと低燃費。そして、小さなクルマだからこそ、大きな安心を。クルマの横滑りを抑えるVSA(車両挙動安定化制御システム)や6エアバッグ、さらには市街地における追突事故の未然防止に効果を発揮するシティブレーキアクティブシステムなど、数々の安全技術を採用しています。一人でも多くのお客様に、心から喜んでいただくために。お客様が軽自動車に求めるものを、「すべて持っているクルマ」を目指しました。

閃き： Nシリーズ、4番打者。目指すはホームラン。さらに場外。

07

世界が驚く コンパクトカーを日本から。 New フィット

123か国での累計販売台数が487万台*1に上るフィット。3代目では、これまで具現化してきた「広さ」「燃費」「かっこよさ」を圧倒的に進化させて、世界中に「驚き」をお届けします。革新をもたらしたセンタータンクレイアウトの価値を最大限に高める新設計プラットフォーム、国内最高*2の低燃費と運転する楽しさを両立するパワートレインなど、すべてを刷新。Newフィットがコンパクトカーの基準を塗り替えます。

●シティブレーキアクティブシステム タイプ別メーカーオプション

約30km/h以下においてレーザーレーダーで前方車両を検知。衝突の回避・軽減を自動ブレーキで支援します。また、前方に障害物がある状況で、急な発進を防止する機能も装備。

FIT

*1 Honda調べ。(2013年9月現在)
*2 Honda調べ。プラグインハイブリッド車は除く。(2013年8月現在)

市販車 ■全長：3,955mm ■全幅：1,695mm
■全高：1,525mm ■ホイールベース：2,530mm



Photo：HYBRID・Fパッケージ

08

乗る人すべてに 「豊かな時間」を提供。 New オデッセイ

ミニバンとして「家族のための最も快適な移動空間」の理想を求め、常に挑戦を続けてきたオデッセイ。今回、新しいオデッセイが目指したのは、広く上質な空間で、心地よく爽快に移動できること。キーテクノロジーは、さらに進化したHonda独創の超低床プラットフォーム。空間の拡大と低重心による運動性能向上を両立することで、すべての席に「移動する喜び」を提供します。

●ブラインドスポットインフォメーション タイプ別設定

斜め後ろの死角に車両が接近すると、その方向のドアミラー上のマークが点灯してお知らせ。さらにその方向にウinker操作をすると、警告音とマークの点滅で注意をうながします。

ODYSSEY

市販車 ■全長：4,830mm ■全幅：1,820mm
■全高：1,685mm (FF) / 1,715mm (4WD) ■ホイールベース：2,900mm



Photo：ABSOLUTE

09

「電動化」への夢を、 またひとつかたちに。 アコードプラグインハイブリッド

通常の走行でほぼエンジンを始動せずに、約37.6km*1の距離をEV走行できる「SPORT HYBRID i-MMD Plug-in」を搭載し、JC08モード走行70.4km/L*2という国産プラグインハイブリッド車トップ*3の低燃費を実現。低炭素社会へ向けて、走行中のCO₂排出量を削減しながら、充電インフラに左右されず長距離移動が可能です。

●衝突軽減ブレーキ(CMBS)+E-プリテンショナー

追突の回避支援を目指した従来のCMBSから、対向車まで作動範囲を広げた新しいCMBSへと進化しました。作動速度も拡大し、警報の機能も一層充実しています。

Accord

PLUG-IN HYBRID

*1 JC08モード走行。(プラグインレンジ、国土交通省審査値)
*2 複合燃料消費率、国土交通省審査値。
*3 Honda調べ。(2013年11月現在)

市販予定車 ■全長：4,915mm ■全幅：1,850mm ■全高：1,465mm
■ホイールベース：2,775mm



一般向けリース近日開始予定

EARTH DREAMS
TECHNOLOGY

Hondaは、運転する楽しさと、低燃費を高次元で両立させた独自の新世代パワートレイン技術「EARTH DREAMS TECHNOLOGY」をさまざまなカテゴリーで展開しています。

10

水平対向6気筒エンジンを採用した、
迫力のストリート・マッスル・クルーザー。

GOLDWING F6C



市販予定車 ■全長：2,475mm ■全幅：945mm ■全高：1,150mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク OHC 水平対向6気筒 ■総排気量：1,832cm³



ヘッドライトをはじめとして、灯火器にはLEDを全面適用

ロー&ロングのトライアングルプロポーションに、独創の1,800cc水平対向6気筒エンジンを搭載。比類無い存在感を追求したストリート・マッスル・クルーザーです。水平対向6気筒エンジンの魅力にとことんこだわったパフォーマンスは、街中では低回転でのうなるような排気音と共に力強く滑らかな走りを追求。いざスロットルを開けると迫力の重低音とともに

に怒濤の加速フィールを実現し、エンジンのサウンド、走りに対極ともいえる2つの個性をもたせています。さらにヘッドライトをはじめウインカーやテールランプにはLED灯火器を全面適用。ウインカーオートキャンセラーの採用など使い勝手も追求し、Vツインクルーザーとは異なる存在感や走り、独自の魅力を打ち出したクルーザーです。

11

トラディショナルなイメージを深めた、
スタンダードロードスポーツモデル。



ギアポジション表示採用の新型メーター

CB1100をベースに、テイスター感溢れるモデルに仕立てたCB1100 EX。水平基調のデザインを追求したシート、サイドカバー、リアグリップや、クロームメッキ仕様のエキゾーストパイプ、4-2-2形式の2本出しマフラー、ワイヤースポークの前後ホイールなどにより、テイスター感を効果的に演出。また、スロットルの開け始めからのトルクフィーリングを見直し1,100ccエンジンならではの走りをより魅力的なものとしています。さらに、燃料タンクの容量アップや、静粛性と快適性に寄与する6速トランスミッションの採用、ギアポジション表示が追加された新型メーターの装備など、走りの魅力もさらに深めるとともに使い勝手を向上させています。

CB1100 EX <ABS>



市販予定車 ■全長：2,195mm ■全幅：835mm ■全高：1,130mm
■エンジン種類：空冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒 ■総排気量：1,140cm³

12

熟成を図りさらに魅力を深めた
スタンダードロードスポーツ
モデル。



定評の空冷4気筒エンジンと普遍的なデザインが魅力のCB1100。EXと同様スロットルの開け始めからのトルクフィーリングを見直すとともに、トランスミッションを6速化。さらに、燃費計、逆算トリップ、ギアポジション表示が追加された新型メーター等を採用し、既存の魅力はそのままに、使い勝手を向上させ、新たな魅力を持たせています。

CB1100



市販予定車 ■全長：2,195mm ■全幅：835mm ■全高：1,130mm
■エンジン種類：空冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒
■総排気量：1,140cm³

13

いつもの生活を広げる、
ニュースタイル50ccスクーター。

Dunk



市販予定車 ■全長：1,675mm ■全幅：700mm ■全高：1,040mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク OHC単気筒 ■総排気量：49cm³



大容量ラゲージ収納スペース



時計表示機能付きのメーター



LEDテールランプ



新開発50cc水冷エンジン「eSP」

若者をメインターゲットとし、通勤、通学時など「いつも」の利便性と快適性を追求した50ccクラススクーターです。デザインは、若者にごく自然に受け入れられるようなプレーンでニュートラルなイメージと、ボディーサイドのモールやLEDを採用したテールランプによる質感の高い存在感を合わせ持つスタイル。上体を起こしてゆったりと乗れ、脚位置の自由度を大きく確保した快適な居住性を実現しました。さらに、

環境性能に優れた新開発50cc水冷エンジン「eSP」をクラス初採用。登坂路走行や発進加速も快適でパワフルな走りを実現するとともに、PCX同様のACGスターターによる始動時の圧倒的な静粛性を実現。低フリクション技術やアイドルリングストップの採用などにより、優れた燃費性能を発揮します。また、大容量ラゲージ収納スペースにより、フルフェイスヘルメットはもちろん、レインスーツ等の小物類も

同時に収納可能。手提げ鞆も掛けられる大型フックの採用や広くフラットなフロア形状、スマートフォンなどの充電ができるアクセサリソケット付きのフロントインナーボックス、スピードメーターには時計表示機能を装備し、使い勝手も追求。その他、コンビブレーキや前輪にはディスクブレーキを採用しています。

14

先進&モダンで大人をクールに
引き立たせるV4クルーザー。

CTX1300



市販予定車 ■全長：2,380mm ■全幅：940mm ■全高：1,170mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ V型4気筒 ■総排気量：1,261cc³



4灯のヘッドライトをはじめとして灯火器にはLEDを全面適用



様々な情報を確認できるTFT液晶パネル

「Comfort Technology Experience (快適技術の体感)」というコンセプトから生まれたCTXシリーズのトップエンドモデル。Honda独自の水平基調デザインをベースに、縦置きV4エンジンとエキゾーストパイプによる存在感、4灯LEDヘッドライトや、ワイドなリアタイヤを装着するなど、既存のイメージを超える迫力と洗練のデザインを融合。1,300cc

V型4気筒エンジンは、扱いやすい出力特性に加え、心地好い鼓動感を追求しています。低重心かつローシート高は、安心感のある取り回しや軽快なハンドリングとともに優れた高速安定性を実現。また、ショートスクリーンとサドルバッグを標準装備し、街中のクルージングからツーリングまで、幅広いシーンでリラックスして走りを楽しめます。さらに手元の

切り替えスイッチで、様々な情報を確認できるTFT液晶パネルやブルートゥース対応のオーディオシステム、自動でウインカーの点滅をOFFにするウインカーオートキャンセラーの採用など、先進装備による洗練のクルージングも追求しています。

15

ステータス性と操る楽しさを追求した
大人のスポーツツアラー。

VFR800F



市販予定車 ■全長：2,134mm ■全幅：748mm ■全高：1,203mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ V型4気筒 ■総排気量：782cm³



X字形レンズのLEDヘッドライト

街乗りから週末ツーリングでのスポーツ走行まで快適にこなすスポーツツアラー。エレガントかつスポーティーなスタイリングに、幅広いシーンで余裕の走りを実現するV4エンジンを採用し、大人のスポーツツアラーとしての魅力にこだわりました。また、VFRブランドを象徴する洗練のデザインや先進装備

も追求。不等間隔爆発による独自のサウンドを生み出すV4エンジンをはじめ、Hondaトラクションコントロールシステム、リア片持ち式のフロアームなどで洗練された走りを追求するとともに、一目でVFRと認識できるフロントフェイスを形づくるX字形レンズのLEDヘッドライトやLEDテールランプ

を採用。さらに、快適性を追求した装備も充実し、寒冷時の快適性を高めるグリップヒーターや自動でウインカーの点滅をOFFにするウインカーオートキャンセラー、ステアレスで取り付け可能なステアレスデタッチャブルパニアケース（アクセサリ）などを採用しています。

16

走りに、存在感に、さらなる熟成を図った
フラッグシップロードスポーツ。



CBの伝統を受け継ぐ、フラッグシップロードスポーツ。新デザインのホイール、小型マフラー、燃料タンクにウイングバッジを採用するなど、外観の変更に加え、サイドカバーの幅を狭めることで足つき性を向上。扱いやすさと力強さの高次元バランスにより、スポーティーな走りにさらに磨きをかけました。また、トランスミッションを6速化することで、スポーティーな走りはそのままに、静粛性を高めると共にロングツーリング時の燃費性能の向上を実現しています。メーターも一新し、ギアポジション等、より多機能表示としました。さらに、通勤やツーリングに便利なトップボックス(アクセサリ)も装着可能としています。

CB1300 SUPER FOUR アクセサリ装着車



市販予定車 ■全長：2,204mm ■全幅：752mm ■全高：1,140mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒 ■総排気量：1,284cm³

17

ツーリングの喜びをさらに追求した
フラッグシップロードスポーツ。



*出展車にはアクセサリが装着されています。

スタイリングは、ハーフカウルデザイン変更と鮮烈な印象のLEDヘッドライトを採用。トランスミッションの6速化による静粛性や燃費の向上と、ハンドルポジション変更による快適性の向上を図りました。また、アクセサリとしてトップボックスとパニアケースを装着可能とし、ツーリングの喜びを追求。パニアケースはステアレスで着脱可能とすることで、使い勝手と未装着時の外観向上を実現しています。



ライン発光が新しい表情をつくる
LEDヘッドライト

CB1300 SUPER BOL D'OR



市販予定車 ■全長：2,204mm ■全幅：825mm ■全高：1,203mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒 ■総排気量：1,284cm³

18

爽快な走りの喜びに、さらなる熟成を図った、スタンダードネイキッドスポーツ。



*出展車にはカスタマイズパーツが装着されています

爽快な走りをもたらす、HYPER VTEC Revo採用の水冷直列4気筒エンジンを搭載した、スタンダードネイキッドスポーツ。新デザインの前・後ホイールやシートカウルを採用し、さらにスタイリッシュな外観を追求。また、二人乗りに便利な左右分割グラブレールの採用やハンドルポジション変更によるアップライトなライディングポジション、シート表皮の変更により、いっそう快適な走りにこだわりました。さらに、外気温や燃費計、ギアポジション表示機能付きの多機能メーターを採用するなど、街乗りからツーリングまで、より幅広いシーンで楽しめるよう進化を遂げています。

CB400 SUPER FOUR



市販予定車 ■全長：2,040mm ■全幅：725mm ■全高：1,070mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒 ■総排気量：399cm³

19

クルージングの喜びをさらに追求したスタンダードネイキッドスポーツ。



ベースモデルCB400 SUPER FOURの走りの魅力はそのままに、ハーフカウルを採用し、クルージング時の快適性を追求したモデル。左右分割グラブレールの採用、ハンドルポジション、シート表皮の変更、多機能メーターの採用など共通の変更に加え、スタイリングも進化。新デザインの前・後ホイールやフューエルタンクとエンジンとの一体感を持たせた新デザインのハーフカウル、LEDヘッドライトの採用などにより、走りの魅力と所有感をさらに高めています。



ライン発光が新しい表情をつくるLEDヘッドライト

CB400 SUPER BOL D'OR <ABS> アクセサリー装着車



市販予定車 ■全長：2,040mm ■全幅：725mm ■全高：1,155mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒 ■総排気量：399cm³

20

CBR1000RRの走りのポテンシャルをさらに追求したスペシャルバージョン。



高性能スーパースポーツモデルCBR1000RRの走りの魅力をさらに追求したスペシャルモデル。ギアレシオの欧州仕様車との共通化や、よりスポーツライディングに適したライディングポジションなど、ベースモデルと共通の変更に加え、ブレンボ製のフロントブレーキキャリパー、オーリンズ製のフロントフォークとリアサスペンション、タイヤはPIRELLI DIABLO SUPERCORSA SPを奢るなど、走りのこだわりを魅せる装備で充実させました。また、シートレールへの軽量穴の追加工やピリオンシート、ピリオンステップを廃止し、一人乗り専用とすることで、さらなるスポーツライディングを追求しています。

CBR1000RR SP



市販予定車 ■全長：2,075mm ■全幅：720mm ■全高：1,135mm
 ■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒 ■総排気量：999cm³

21

スポーツイメージを追求し、外観を一新した、250ccロードスポーツモデル。



市街地の走行から郊外のツーリングまで、幅広い用途で扱いやすいロードスポーツモデル。スーパースポーツCBR1000RRの外観を投影し、フロント、ミドル、リアカウルを一新。ヘッドライトも2灯化し、スポーティーでアグレッシブなスタイリングを追求しました。また、出力特性を変更し、低・中速トルクをキープした上で、高回転域での伸び感を高めるとともに、燃費性能も向上。さらに、メインシートとサイドカバーの形状変更により、足つき性も向上しています。

CBR250R

市販予定車 ■全長：2,035mm ■全幅：720mm ■全高：1,120mm
 ■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ 単気筒 ■総排気量：249cm³

22

より幅広い人々が楽しめる、
直4フルカウルミドルスポーツ。



ツーリングやスポーツ走行など、幅広い用途で楽しめるフルカウルミドルスポーツ。豊かな立体感を持ちながらもコンパクトなボディーにより、人車一体の走りが楽しめるサイズを実現。外観は、スポーティーなイメージにこだわり、楕円断面ツインチューブフレームや異形のアルミ鋳造スイングアームなどを採用。エンジンは、極低回転での安心感ある走りとは高回転で伸びのある特性を追求し、軽快感と安定感を高次元でバランスさせたハンドリングや、スーパースポーツフィールと快適性を両立したライディングポジションと相まって、幅広い人に向けた、走りを存分に楽しめるスポーツモデルとなっています。

CBR650F



市販予定車 ■全長：2,110mm ■全幅：755mm ■全高：1,145mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒 ■総排気量：649cm³

23

操る楽しさと魅せる楽しさを両立した、
直4ネイキッドミドルスポーツ。



グラマラスかつコンパクトなボディーで、人車一体の走りが楽しめるネイキッドミドルスポーツ。直4ならではの美しさを持つエキゾーストパイプやアンダーボディーマフラー、異形のアルミ鋳造スイングアームなど、パーツの造形により、ネイキッドならではの迫力あるスポーティーなスタイリングを追求。さらに、極低回転での安心感ある走りとは高回転で伸びのあるエンジン特性に加え、軽快感と安定感を高次元でバランスさせたハンドリングや高い目線でさまざまな状況に対応しやすいライディングポジションなど、幅広い人々に向けた、扱いやすく気軽に走りを楽しめるモデルとなっています。

CB650F



市販予定車 ■全長：2,110mm ■全幅：755mm ■全高：1,120mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク DOHC 4バルブ 直列4気筒 ■総排気量：649cm³

24

街中から長旅まで余裕を持って楽しめる
オールラウンド・グランツーリスモ。



*出展車にはアクセサリが装着されています。

ツアラーとオン/オフロードスタイルを高次元で融合したオールラウンド・グランツーリスモ。HondaスポーツツアラーのトップエンドモデルであるVFR1200F Dual Clutch TransmissionのV4パッケージをベースに開発し、高い運動性能と快適性を両立。また、進化したデュアル・クラッチ・トランスミッションの採用や設定温度が5段階で調節可能なグリップヒーター、ウインカーオートキャンセラー、セレクトダブルトルクコントロールシステムの採用など、大人を魅了する先進的で上質な装備も充実。クロスオーバーコンセプトのトップエンドにふさわしいモデルとなっています。

VFR1200X Dual Clutch Transmission



市販予定車 ■全長：2,280mm ■全幅：915mm ■全高：1,320mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク OHC (ユニカム) 4バルブ V型4気筒 ■総排気量：1,237cm³

25

排気量アップで、よりゆとりのある走りを
楽しめるクロスオーバー・モデル。



アップライトなライディングポジションによる、オンロードでの快適性と行動半径を広げる機動力を両立したクロスオーバー・モデル。排気量を750ccへと拡大し、低回転域でのゆとりあるトルク特性とより明確な鼓動感を実現。また、2軸バルンサーにより不快な振動を低減したことで、扱いやすさと楽しさをさらに追求。ミッションをハイレシオ化することで燃費も向上しています。さらに、燃費計とギアポジション表示が追加 (MT車) されたメーター、アジャスター付きブレーキレバー、オフロードテイスト溢れる新パターンタイヤの採用など、より走りの魅力を高めています。

NC750X Dual Clutch Transmission



市販予定車 ■全長：2,210mm ■全幅：840mm ■全高：1,285mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク OHC 4バルブ 直列2気筒 ■総排気量：745cm³

26

排気量アップで、操る楽しさをさらに追求したネイキッドスポーツ。



ネイキッドらしいシンプルなスタイリングを基調に、躍動感あふれる力強いデザインと、モーターサイクル本来の操る楽しさを味わえる素直なハンドリング特性を融合。NC750X同様、排気量を750ccへと拡大し、低回転域でのゆとりあるトルク特性とより明確な鼓動感を実現。また、2軸バランサーにより不快な振動を低減したことで、扱いやすさと楽しさをさらに追求。ミッションをハイレシオ化することで燃費も向上しています。また、燃費計とギアポジション表示が追加（MT車）されたメーター、アジャスター付きブレーキレバーの採用など、より走りの魅力を高めています。

NC750S <ABS>



市販予定車 ■全長：2,195mm ■全幅：780mm ■全高：1,130mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク OHC 4バルブ 直列2気筒 ■総排気量：745cm³

27

排気量をアップし、よりバイクらしい外観を追求したスクーティング・モーターサイクル。



モーターサイクル本来の操る楽しさや、デュアル・クラッチ・トランスミッションによるダイレクト感ある爽快な走り味を実現したモデル。NCシリーズと同様に、排気量を750ccへと拡大すると共に、2軸バランサーにより不快な振動を低減したことで扱いやすさと楽しさをさらに追求。ミッションをハイレシオ化することで燃費も向上しています。また、スイングアームのアルミ化やデザインの変更で、よりバイクらしい外観を実現。燃費計が追加されたメーター、アジャスター付きブレーキレバーの採用、ひざ回りのスペースの拡大や足つき性の向上、フロアの拡大により、快適性にもさらにこだわっています。

INTEGRA S



市販予定車 ■全長：2,195mm ■全幅：810mm ■全高：1,440mm
■エンジン種類：水冷 4ストローク OHC 4バルブ 直列2気筒 ■総排気量：745cm³

28

マットブラックを大胆に使い、よりクールな印象を追求。

CB1100 EX Customized Concept カスタマイズコンセプト

テイスター感溢れるCB1100 EXにクールで野性味あるイメージを追求。刺繍やステッチを施したスペシャルレザーシートや独特の質感と風合いを持つ結晶塗装を採用するなど、細部まで徹底して質感にこだわりました。



29

ファッションを楽しむような自然な感覚で乗れるイメージモデル。

Dunk Customized Concept カスタマイズコンセプト

シンプルなデザインのDunkだからこそ実現できた、マリンカラーのコンセプトモデル。日常のアイテムの一つとしてさり気なく自然なおしゃれさを表現しました。メッキやポリッシュ加工のパーツが上級感を演出しています。



30

クロスカブならではの遊び心あふれるカラーコンセプトモデル。

CROSS CUB Customized Concept カスタマイズコンセプト

おちゃめでやんちゃな小悪魔をイメージしたモデルは、街中でも映えるピンクのカラーリング。一方、自然の中に分け入ってゆく探検隊をイメージしたモデルは、自然に溶け込むオリーブドラブのカラーリング。2台共にクロスカブらしい遊び心を全身に表現しています。



31

ワイルド&クールな、全身ブラックの存在感あるモンキー。

Monkey Limited 市販予定車

伝統のコンパクトなスタイリングに、ブラックを基調としたワイルドでクールなイメージを追求。本来の愛らしいデザインとカラーリングのコントラストが、モンキーならではの独自の魅力を生み出しています。



HONDA
The Power of Dreams

本田技研工業株式会社 広報部

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

メディアリレーションブロック TEL (03) 5412-1514 / FAX (03) 5412-1545

グローバルPRブロック TEL (03) 5412-1203 / FAX (03) 5412-1515

URL <http://www.honda.co.jp/>